

平成ノスタルジー *No Music No Life!*

あっさん JAPAN と揶揄されたサッカー日本代表の W 杯での大活躍と、それでも夢は夢のまま去り行く涙の背中を見つめて迎えた「平成最後の夏」、いかがお過ごしでしたか？ 何かが終わりを迎えるときはどこか郷愁に誘われるものですが、ノスタルジーに耽るときに欠かせないのが「音楽」だと思うのです。あの日、あの時の、あのメロディ。一音鳴れば情景が立ちのぼる瞬間記憶復活装置の音楽こそ、いよいよひとつの時代が終わるのかもしれない。

「初めて買った歌は誰の曲？」———この会話ができなくなる日が来るかもしれないと思ったことはありますか？



私は AppleMusic の便利さにその時代が来るのかなと想像してしまいました。それは定額制音楽配信サービスのスマートフォンアプリの一つです。日本では 3 年前から本格的に定額配信が始まり各メーカーが競合しています。「歩きながら音楽を聴く」という発想を実現し世界の音楽文化に革命を与えたのは昭和 54 年発売の SONY のウォークマンでした。時代が変わり平成 13 年アップル社の iPod 発売。媒体を入れ替えて再生していたそれまでのプレイヤーと違って、デジタルデータそのものを機器に保存することによって部屋にある全 CD 分の音楽をどこへでも持っていくことが可能になったのです。しかしそのデータで音楽を聴くという革命は違法ダウンロードを生み CD 不況の時代へと誘うものでもありました。そして iPhone が誕生し、音楽環境だけでなく世界中が一変しました。ミリオンヒットを連発した CD セール最盛期は平成 10 年、iPhone が日本で発売されたのが平成 20 年、そしてスマートフォンの普及によって常にインターネットとつながるようになった平成 30 年の今、データを端末にダウンロードすることすらなくクラウドにアクセスして音楽を聴く時代になろうとしているのです。配信アプリでは再生回数によってアーティストへの報酬が分配されるとい、大好きな曲を聴くほどアーティストも対価を得られるお互いに未来が明るい仕組みのようです。買うほどではないけど YouTube で見るのがお気に入りだったグループも、さっき TV で紹介していた今話題のバンドも、学生時代の懐かしい曲も、これまで存在すら知らなかった音楽も、そこにあるもの全ては聴き放題で、もはや小さな部屋を飛び越えた広い広い世界が存在していました。これからは音楽を環境として買う時代となるのかもしれない。



さて、私には海外に暮らす小学生の甥が二人いるのですが今年 LINE をするようになり成長を嘯みしめているとある日動画が送られてきました。姉の解説によると進研ゼミのチャレンジタッチで期間限定配信されていたある J-pop の歌が長男(小 5)にとっては初めて「この曲めっちゃかわいい! CD あったら買う! 」となったようで、家族全員が合唱できるほど繰り返りリピートしたあと、CD は現地にはないので聴き続けられるように考えた末、音楽を鳴らしながら iPad で動画を撮ると思いついたそうです。流行の顔変換加工付き自撮り動画フューチャリング次男(小 2)で、無言で変顔してしゃべってはいけないルールに我慢できないくすくす笑いも一緒に録音されているのが癒し効果抜群でした。それにしてもこれは TV で流れる歌をラジカセに録音するのに必死なのにお母さんの声とか入っちゃうという昭和あるあるの光景なのは？ と姉と私がこっそり笑っていたのは、声が入らないよう再度撮り直すほど真剣な甥にはないようです。ちなみに私の初めて買った CD は平成とともに引退した安室ちゃんや小室さんが参加したこねこの『You are the one』でした。おはあちゃんの家で夜更かした大晦日に小室ファミリーがそろって歌うのに興奮し、お年玉で買いに行ったことは、CD 自体はどこかになくなってしまったけれどいつまでも忘れないでしょう。

すぐそこで待っているまだ名前の知らない次の時代。そこで生まれ育つ子どもたちにとってもはや空気のような音楽はどんな存在になるのでしょうか。たとえ曲そのものを購入することがなくなっても、きっと誰かの特別な曲は生まれるでしょう。平成人としてはやっぱり手に取れるカタチでも残ってほしいところですが、これからもたくさんのお名曲と出会える時代となりますように! (図書館文化委員)

本当に使える？
無料体験で検証

定額配信アプリ談

※ものによって細かいところは違います

約 4000 万曲聴き放題

お店購入でかかるロス(買いに行く時間、交通費)や
ネット通販でもかかるロス(届くまでの時間、送料)が
解消！発売と同時に聴ける！！

CDの音源データを取込んだりすることなく
スマホのアプリで聴ける

ストリーミングだから端末のデータ容量を圧迫しないし
2度目はキャッシュで再生するから通信データもかからない

月額約 1000 円

邦楽は配信されていない人気歌手も多く
現状では環境が充実していない

お気に入りのアーティストが配信されているのが
今後も配信され続けるのかわからない
数えきれないほどの曲数があっても
聴きたい曲がなければやっぱり意味がない！

一回千円なら気軽に支払えても
定額制では永久的にひと月千円の課金が必須
1年 12000 円でお気に入りの曲を保存しても
解約したら消えてしまう

私はずっと時代に反しダウンロードではなく CD を買うことが好きでした。

好きなアーティストの新しいアートワークにときめきながら初めての曲を耳にする瞬間はたまりなく幸せです。

今後も CD を買うので、CD プラスの“定額制”には、あと一歩踏み出せません。

便利さはとてもいいので環境の充実をもっとがんばってほしいところです。